

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		261-01-01		
事務事業名		害虫等対策事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線2843		
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち	款	4	衛生費
	施策		6		環境衛生	項	1	保健衛生費
	施策の方向		1		自然環境の保全	目	3	環境衛生費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		一般市民					
	目的 (どうしたいか)		衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。					
	手段 (事業内容)		公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 薬剤購入(不快害虫抑制剤) 【特定財源】	
当初予算額	事業費	300	300	300		
決算額	事業費	298	149	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	1年間で薬剤散布及び配布した延件数	単位	件
指標の説明	市民相談により、市が行った薬剤散布及び市民に薬剤配布した延べ件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	18	20	30
実績	27	31	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市が行った公共用地への薬剤投入及び散布率	単位	%
指標の説明	市民の相談により、原因場所が公共用地と判明した場合には薬剤の投入及び散布を行う。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	97	－

【事業費】
薬剤購入(不快害虫抑制剤)
【特定財源】

《事業の参考数値等》
相談件数(ユスリカ)
R2 27件
R3 31件
※相談のあった個所については、薬剤を投入、あるいは相談者へ薬剤の配布を行っている。R3については、一件投入不可の個所であったため、97%としている。

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
減少傾向に見られた相談件数も、気候変動や生活様式の変化により増加してきた。外来種不快害虫の出現も予想されるため、今後引き続き本施策の充実が求められる状況。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
他課との連携や、民間事業者の活用も課題となってくる。専門知識を持ち市民に的確な助言を送ることも求められてくる。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		261-01-02	
事務事業名		飼犬登録及び狂犬病予防事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2842	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	1	保健衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		目	3	環境衛生費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	犬を飼っている市民					
	目的 (どうしたいか)	飼い犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。					
	手段 (事業内容)	市内獣医師と委託契約し、公園や公共施設に出向き、年1回の集合予防注射を推進するため、各地域ごとに飼い犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 消耗品費 150千円 郵便料 262千円 登録・注射済票手数料徴収事務委託料 618千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	1,096	1,096	1,110	
決算額	事業費	1,020	1,030	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	集合注射会場数	単位	箇所
指標の説明	注射頭数向上のための取り組み		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	39	39	39
実績	39	39	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	狂犬病予防注射の接種率	単位	%
指標の説明	登録頭数に対する注射頭数(注射頭数÷登録頭数×100)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	60	60	60
実績	60	63	－

【事業費】 消耗品費 150千円 郵便料 262千円 登録・注射済票手数料徴収事務委託料 618千円 【特定財源】

※事業の参考数値等※ 総登録犬数 R1 5,214匹 R2 5,414匹 R3 5,349匹 注射頭数 R1 3,119匹 R2 3,215匹 R3 3,363匹

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当当局による総合評価の理由や課題) 法で定められている事業で、今後も狂犬病予防注射の接種率を向上させるよう、事業を継続していく必要がある。 ただ、獣医師会所属獣医師の減少・高齢化が懸念されており、現状4名の獣医師で開催しているが、今後、獣医師の減少により接種会場の縮小を視野に入れる必要が生じる可能性がある。 その中で、獣医師の意見も参考に、接種頭数が少ない会場については削減を行う等改善しながら継続していく。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) ペットショップ及びブリーダーについて、令和4年6月1日以降マイクロチップ装着が義務化される事に伴い、環境省の情報登録サイト内容確認及び管理、狂犬病予防法に基づく犬の登録手数料徴収のための納入通知書送付等新たな事務に関するマニュアルの作成・方法を確立していく必要がある。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		261-03-01	
事務事業名		環境調査・監視事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2820	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	3	公害対策費
	施策の方向	1	自然環境の保全		目	1	公害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)					
	目的 (どうしたいか)	日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生の未然防止に努める。					
	手段 (事業内容)	市域では府の環境監視を行う観測定点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないよう河川水質(5水系、5定点)、大気(一般環境DXN2地点、その他2地点)、環境騒音(23地点)、自動車騒音面的評価(幹線沿道4定点)の計36地点での状態を通年に監視する。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 水質検査委託料 4,445,000円 大気検査委託料 2,761,000円 環境騒音測定委託料 539,000円 自動車騒音面的評価委託料 495,000円	
当初予算額	事業費	11,026	10,536	10,137		
決算額	事業費	9,232	8,240	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	調査地点数	単位	地点
指標の説明	羽曳野市域で測定を行っている調査の地点数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	36	36	36
実績	36	36	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	一般環境騒音に係る環境基準達成率	単位	%
指標の説明	全時間帯(昼間・夜間)での環境基準達成率(23地点)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	96	83	－

《事業の参考数値等》 一般環境騒音基準達成率 全時間帯 83% 基準達成23地点中19地点
--

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当当局による総合評価の理由や課題) 市民からの環境に対する関心が高まっており、音、大気、ダイオキシンだけでなく、より多くの測定地点を増やすなどの改善が必要である。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 市民にとってよりよい住環境を実現するため、調査項目の再検討や新規調査項目の検討も適時行う。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		261-03-02	
事務事業名		環境相談・指導事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2820	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	3	公害対策費
	施策の方向	1	自然環境の保全		目	1	公害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民相談					
	目的 (どうしたいか)	生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。					
	手段 (事業内容)	市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	苦情相談件数(公害・美化)	単位	件
指標の説明	年間の苦情相談受付件数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	80	80	80
実績	81	95	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	苦情相談 解決率(公害・美化)	単位	%
指標の説明	苦情相談を受理し、解決した割合		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	92	80	88
実績	72	87	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 今後、急激な生活環境の変化は考えられないため現状維持の評価とする。 また、空地の苦情の場合、真の所有者を特定することが難しいことがあり、対応してもらえない或いはかなりの時間を要することが多い。	今後の改善内容 (令和4年度以後の事業実施への改善内容) 課題としては相談内容が多様多様に及ぶため、対応に苦慮することがある。 研修等への受講、装備の充実により、対応力や資質の向上を図る。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		262-01-01	
事務事業名		石川クリーン作戦事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2820	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	1	保健衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		目	7	環境美化対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	石川河川流域、及び、流域住民					
	目的 (どうしたいか)	河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る					
	手段 (事業内容)	官民協働で河川流域の清掃。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	116	116	116		
決算額	事業費	15	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	クリーン作戦当日の参加人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2,500	2,500	2,500
実績	0	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	ごみの回収量	単位	t
指標の説明	クリーン作戦でのゴミ回収総量		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	10	10	10
実績	0	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	(今後の改善内容)
現在、大和川流域において、環境、河川、下水道の各担当部局が、共に連携し、流域ぐるみで水辺環境の改善について計画等を策定し、国・府・流域市町村が一体となって取り組んでいる。	河川における水環境問題や流域市町村の水道水の取水問題、海洋域におけるマイクロプラスチックや漂流ゴミの問題などを含んでおり、事業を継続しながら将来の方向性の検討を行います。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		262-01-02	
事務事業名		まちかど清掃事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2841	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	2	清掃費
	施策の方向	1	自然環境の保全		目	1	清掃総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域					
	目的 (どうしたいか)	公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。					
	手段 (事業内容)	市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	0	0		
決算額	事業費	0	0	—		
	特定 財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催回数	単位	回
指標の説明	まちかど清掃開催回数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2	0	1
実績	1	0	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	職員参加人数	単位	人
指標の説明	まちかど清掃参加延人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	450	100	200
実績	130	0	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	C
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響はない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合が可能である。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	縮小・統合
(担当部局による総合評価の理由や課題) 環境美化に対する意識の向上のために啓発活動の手法・手段を検討し、地域のポイ捨てゴミの減少に努めるために始めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により開催を中止した。しばらく感染拡大防止の観点から開催については慎重にならざるを得ない。	今後の改善内容 (令和4年度以後の事業実施への改善内容) 市職員への美化意識を高め、市内のポイ捨てごみの減少に努めることは必要であるが、コロナ禍において手法等検討が必要である。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		263-01-01	
事務事業名		環境教育推進事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2820	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	3	公害対策費
	施策の方向	3	環境教育の推進		目	1	公害対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域の小学生					
	目的 (どうしたいか)	環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。					
	手段 (事業内容)	関西電力(株)協力による「環境教育授業」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」					

予算・決算額		(単位：千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	30	30	30		
決算額	事業費	23	0	－		
	特定 財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	環境教育開催回数	単位	回
指標の説明	環境衛生課で行っている環境教育の開催回数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2	2	1
実績	1	0	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	環境教育の参加人数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	80	0	80
実績	15	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
（担当部局による総合評価の理由や課題） 民間力の活用や大阪府との共催で事業を行うことにより経費の節減が出来た。また、環境保全への意欲の増進を目的とした環境教育の取り組みとして、感性の豊かな年代である小学生と家族を対象とした「水辺の観察会」や民間事業者が行う「電気の話」は、子どもたちの未来に向かって「環境」を身近に感じ、意識付けになることを目的としているので、事業の継続が望ましい。		（令和4年度以後の事業実施への改善内容） 水辺の観察会の参加人数が少し減少してきている。 小学生の関心を引く取り組みについて大阪府と協議し改善していく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		272-01-01	
事務事業名		ペットボトル回収事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2842	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域から排出されるペットボトル					
	目的 (どうしたいか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。					
	手段 (事業内容)	公共施設や地域集会所等に専用回収容器を設置し、市内から排出されるペットボトルの回収を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 ペットボトル回収ネット 120千円 ペットボトル回収業務委託料3608千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	223	3,906	4,118		
	事業費	1,495	3,728	—		
決算額	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	回収日数	単位	日
指標の説明	年間回収日数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	146	144	150
実績	143	141	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	35	35	35
実績	34	37	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) ごみ減量化及び再資源化の係る点から見ても必要な事業である。今後、回収量の増を図るべく、回収拠点の増加などの方策を検討していく必要がある。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		272-01-02	
事務事業名		古紙回収助成事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2843	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等					
	目的 (どうしたいか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。					
	手段 (事業内容)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等に対し助成金を交付する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和3年度決算)※
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 助成金 3456千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	4,900	4,900	4,400	
決算額	事業費	3,975	3,456	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	古紙集団回収実施団体登録数	単位	件
指標の説明	前期・後期分延べ回収実施団体数		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	310	310	310
実績	301	298	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	古紙集団回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2,500	2,500	2,500
実績	1,847	1,728	－

令和3年度回収量 新聞 1017.4t 雑誌 321.2t 段ボール 287.2t 古布 102.1t

※事業の参考数値等※

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) インターネットや電子書籍が普及し、新聞や雑誌などのペーパー類は減少傾向にある。子ども会等の廃止や回収活動の縮小により回収量の減少や廃棄物として処理されることが懸念される。この事業は、ごみの減量化及び再資源化につながる事業であり、より一層市民の協力を得られるように啓発を図る。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-01	
事務事業名		ごみ収集事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2843	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		目	2	塵芥処理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	一般家庭					
	目的 (どうしたいか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。					
	手段 (事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(ごみ)を業務委託により収集及び運搬を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 家庭ごみ収集委託料	
当初予算額	事業費	694,030	710,726	725,851		
決算額	事業費	699,842	698,201	—		
	特定 財源等	0	0	—	【特定財源】	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	委託業者家庭系ごみ収集運搬量	単位	t
指標の説明	可燃ごみ+可燃粗大+不燃粗大		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	23,993	24,000	24,000
実績	24,685	24,054	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市民一人1日あたりの家庭系可燃ごみの排出量	単位	g
指標の説明	年間家庭系可燃ごみ収集運搬量÷365(日)÷年度末人口		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	592	590	590
実績	615	603	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市民生活に直結するため、引き続き収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。	
今後の改善内容	(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 今後も安定的に塵芥処理事業を継続できるようにしていく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-02	
事務事業名		し尿収集事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2841	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		目	1	清掃総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	一般市民					
	目的 (どうしたいか)	一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。					
	手段 (事業内容)	市内の家庭から発生する一般廃棄物(し尿)を業務請負により収集及び運搬を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和3年度決算)》
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 し尿汲取業者助成金 【特定財源】
当初予算額	事業費	18,200	16,879	15,797	
決算額	事業費	17,039	16,073	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	し尿汲み取り人口	単位	人
指標の説明	羽曳野市域のし尿の汲み取り人口		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	4,300	4,200	3,900
実績	4,231	4,009	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	し尿処理率	単位	%
指標の説明	羽曳野市域のし尿の処理率		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容) 下水道の普及に伴い、徐々に事業として縮小となっていく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-04	
事務事業名		水銀等使用廃製品の分別収集事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2843	
担当部署名		環境衛生課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	一般家庭					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市でいきいきと安心して暮らせる環境を整える。					
	手段 (事業内容)	家庭から排出される一般廃棄物のうち、水銀等使用廃製品(蛍光灯・乾電池等)を分別し、拠点収集を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 派遣委託料(ペットボトル回収と一括契約) 【特定財源】	
当初予算額	事業費	2	3,786	791		
決算額	事業費	0	1,223	—		
	特定財源等	0	0	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	収集回数	単位	回
指標の説明	年間回収量実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	52	50	50
実績	52	83	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	収集運搬量	単位	kg
指標の説明	年間回収量実績		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	9,000	9,000	9,000
実績	11,081	10,916	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 水俣条約・水銀汚染防止法・廃棄物の処理及び清掃に係る法律施行令・同施行規則・大気汚染防止法 ペットボトル回収派遣委託事業に本事業を含めて契約することにより、安定的な回収を図っている。。		(令和4年度以後の事業実施への改善内容)